真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月14日

事務事業名	地域づくり事業	担当課・係	総合政策部　市民協働推進室　市民協働推進室
政策名　No	6　「魅力づくり」～市民の力アップ！～	関連するSDGs･DX	DX
施策名　No	2　市民協働のまちづくり		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	6事業以上の実施区数	区	61					

事業内容

個性豊かな地域のあり方を創造する自治会組織の支援する。
・地域の創意工夫により、地域活性化を目的とした地域づくり事業を推進している。
・全20事業を展開し、各地域の持続的な活動に向けた支援を行い地域コミュニティの活性化を図っている。
・令和６年度 事業の統廃合や事業費の積算方法の変更など全体的な改善を行った。

前年度の課題（Check）

・より多くの区で事業が実施されるよう、理解促進に努めるとともに随時見直しを図る。
・実施区数の緩やかな減少に歯止めをかける。特に二宮地区の実施区数が少ないことへの対応。

7年度振り返り

【１】実績（Do） ７年度に実施した事業
・事業の見直しを行い、全23事業から全20事業に変更。
・事例集を作成し全区へ配布。次年度に実施する事業の参考としてもらう。
・実施区数を増加させるため、事業の在り方（区が実施していない新たな事業へ取り組むための方策）について関係各課へ調査。調査結果により、事業内容の見直し等の検討。
・各種申請書や実績報告書等の申請について、窓口で適宜相談等のサポートを実施した。

【２】結果と課題（Check）
・全区において地域づくり事業を実施することができた。
・6事業以上の事業を実施した区は61区と1区減少。二宮地区は全区が事業実施しており、事業数は59事業と前年同様。事業数を見直し市23事業から20事業にまとめたため、数としての増加はなかったが、内容は前年度から更新した内容が多く見られた。
・地域で新たな事業へ取り組むための方策として、翌年度事業計画の参考にしていただくための資料①②を制作し各区へ送付した。
①事例集：数年おきに発行していた事例集を毎年発行に変更。地域で翌年度の事業計画を図る時期（12月）に合わせて送付した。
②事業周知チラシ：事業の合同実施や複数区での合同実施も可能とし、具体的な手法を記載したチラシを作成し、地域への周知を図るため12月の事例集と合わせて発送した。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・令和7年度から事業全体の見直しを実施したが、見直し後の事業分析はこれから実施するため、令和8年度の地域づくり事業推進委員会の中で、各小事業ごとに令和7年度の事業を振り返りを実施し、令和9年度に向けた方針を議論し、地域に寄り添った充実した内容になるように検討を進める。
・認定事業の認定期間（最長3年）が終了すると、地域で次行を終了してしまうケースがある。そのまま地域で事業が存続できるように指導することが必要と考える。
・実施区数増加のための取組（①事業の合同実施②複数区による合同での実施）について、引き続き周知する。

（2）長期的な計画で検討すること
・より多くの区で事業が実施されるよう引き続き周知活動を行い、理解促進に努める。
・各区で主体的に取り組めるよう、分かりやすい資料の作成に努めるほか、改善要望の多い項目について随時見直しを図る。